



第69回日本リハビリテーション医学会関東地方会学術集会 専門医・認定臨床医生涯教育研修会



○日 時：2018年9月30日(日) 9:00~17:00

○会 場：昭和大 上條講堂(旗の台キャンパス)

〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8

・東急大井町線・東急池上線「旗の台」東口より徒歩10分

○会 長：川手 信行(昭和大 上條講堂リハビリテーション医学講座)



※病院の駐車場が利用できませんので、電車をご利用下さい。
※敷地内すべて禁煙となります。
※ゴミは各自でお持ち帰り頂きますようお願い致します。

第69回日本リハビリテーション医学会関東地方会学術集会

会 長：川手 信行(昭和大 上條講堂リハビリテーション医学講座)

〒227-8515 神奈川県横浜市青葉区藤が丘2-1-1

昭和大 藤が丘リハビリテーション病院 リハビリテーション科

TEL: 045-974-2221 FAX: 045-974-2485

E-mail: rehab@med.showa-u.ac.jp

○参加費等・地方会参加費

医師 2,000円、メディカルスタッフ 1,000円、学生 無料

- ・日本リハビリテーション医学会 生涯教育研修会 1 講演 1,000 円
- ・日本整形外科学会 教育研修会 1 講演 1,000 円

○単位認定・地方会参加10単位(筆頭演者はさらに年度末自己申請により 1 演題10単位)

- ・日本専門医機構専門医は参加 2 単位(筆頭演者はさらに年度末自己申請により 1 演題 1 単位)
- ・生涯教育研修会 1 講演10単位(3 講演で30単位)
- ・日本整形外科学会教育研修会 1 講演 1 単位(1 講演で 1 単位)

日整会単位申請には I C 会員カードが必要です。必ずご持参ください。

○利益相反について

日本リハビリテーション医学会が定める「利益相反の管理に関する申し合わせ」に従ってください。利益相反がない場合も、スライドで表示してください。

参加者の皆様へ

プログラムは当日配布致しませんので、必ずご持参ください。

1. 受付にて参加費(医師 2,000円、スタッフ 1,000円)と引換えに領収書と青色の参加カードと参加証明書をお受け取りください。参加証明書はお手元に保存し、必要事項を記入したカードを専用の回収箱にお入れください。
2. 生涯教育研修会にご参加の方は、1 講演につき1,000円をお支払いいただき、領収書をお受け取りください。専門医・認定臨床医資格更新のための単位取得をご希望の方は、白色の受講カードをお受け取りください。認定臨床医受験資格取得のための単位取得をご希望の方は、お申し出の上、オレンジ色の受講カードと受講証明書をお受け取りください。
いずれも、受講証明書をお手元に保存し、記入済みの受講カードは講演終了後、専用の回収箱にお入れください。
3. 日本整形外科学会教育研修会にご参加の方は、1 講演につき受講料1,000円をお支払いいただき、領収書をお受け取りください。講演開始前に、領収書を受付スタッフに提示し、I C 会員カードをカードリーダーにかざしてください。

一般演題ご発表の先生方へ

1. 発表方法に関して
 - (1) **発表時間は5分、討論2分**です。発表時間は厳守してください。
 - (2) 発表はPCを使います。スライドやビデオは使用できませんのでご注意ください。
 - (3) 発表データは、USBメモリ、CD-R、PC本体のうちいずれかの様式でお持ち込みください。
2. 講演セッション開始30分前までにPC受付にて発表データの試写と受付を済ませてください。
3. USBメモリ・CD-Rをお持込みの方への注意事項
 - (1) ウィルスチェックは最新の定義ファイルを用いて行って下さい。
 - (2) ソフトはWindows版PowerPoint2010または2013をご使用ください。
*Macintoshをご使用の方はご自身のPC本体を持参してください。
 - (3) フォントはOS標準のもののみをご使用ください。
 - (4) 動画ファイルをご使用の場合、再生に問題のないご自身のPC本体をお持込みになることを推奨します。
4. ノートPCをお持込みの方への注意事項
 - (1) バックアップとして必ずUSBメモリ等をご持参ください。
 - (2) プロジェクターとの接続ケーブルはDsub-15ピンです。PCによっては専用のコネクタが必要になりますので、必ずお持ちください。
 - (3) コンセント用電源アダプタを必ずご持参ください。
 - (4) 持ち込みPCのスクリーンセーバー、省電力設定は事前に解除願います。
5. 日本リハビリテーション医学会誌「Jpn J Rehabil Med.」掲載用の抄録原稿『演題名、演者名、演者所属、抄録(本文400字以内)』を作成し、デジタルデータとして当日PC受付時にご提出ください。
6. 発表が次の順番になりましたら、次演者席にて待機してください。

第68回日本リハビリテーション医学会
関東地方会学術集会 プログラム

【一般演題：第1部】 9:00~10:00

座長：山下 愛茜(牧田総合病院 蒲田分院)

1. 急性散在性脳脊髄炎で呈した球麻痺が遷延し気管カニューレの抜去が困難であった症例
昭和大学医学部リハビリテーション医学講座
○兼子 尚久, 飯田 守, 野尻 恵里, 諸富 伸夫, 川手 信行
2. 塩酸アマンタジンが発動性改善に奏効した小脳出血の一例
河北リハビリテーション病院
○融 優子
3. 不全対麻痺を合併した高齢急性大動脈解離例へのリハビリテーションの経験
東京都健康長寿医療センター リハビリテーション科
○小山 照幸, 全 秀剛, 齊藤 陽子, 正田奈緒子, 加藤 貴行, 金丸 晶子
4. リハビリテーション中に発症した無症候性肺塞栓症の2例
1) 日本大学病院リハビリテーション科, 2) 日本大学病院整形外科
○鶴崎 翠子¹⁾, 永井多賀子¹⁾, 龍 啓之助²⁾, 三嶋信太郎²⁾, 洞口 敬²⁾, 長岡 正宏²⁾
5. CRPSとの鑑別および治療に難渋した転換性障害の一例
1) ねりま健育会病院 回復期リハビリテーションセンター,
2) TMGあさか医療センター 脳卒中・てんかんセンター
○鈴木 孝征¹⁾, 久保田有一²⁾, 酒向 正春¹⁾
6. 携帯可能な呼吸筋力測定装置の開発
国立国際医療研究センター病院リハビリテーション科
○村松 倫, 杉本 崇行, 藤本 雅史, 早乙女郁子, 藤谷 順子
7. 入院集中的治療が奏功した卵巣癌術後下肢リンパ浮腫の1例
東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座
○畑中 麻衣, 上原 朋子, 栗山 千秋, 木村 郁夫, 巷野 昌子, 佐々木信幸, 安保 雅博
8. ジャパンパラ陸上競技大会女性アスリート相談窓口設置から見た女性パラアスリート支援の課題
1) 国立障害者リハビリテーションセンター,
2) 日本パラリンピック委員会女性スポーツ委員会
○上出 杏里^{1,2)}, 緒方 徹¹⁾

【一般演題：第2部】 10:00~11:00

座長：正岡 智和(昭和大学リハビリテーション医学講座)

1. 当院リハビリテーション依頼患者の上腕・下腿周径に関する調査
防衛医科大学校リハビリテーション部
○小林 龍生, 尼子 雅敏, 長尾 陽子
2. 大腿骨骨幹部骨折を繰り返すMcCune-Albright症候群のリハビリテーション経験
1) 東邦大学医療センター大森病院リハビリテーション科, 2) 同 整形外科
○宮城 翠¹⁾, 大国 生幸¹⁾, 伊豆蔵英明¹⁾, 土谷 一晃²⁾, 海老原 覚¹⁾
3. 大腿骨近位部骨折の転倒誘因の検索
1) 日本大学整形外科,
2) 竹の塚脳神経リハビリテーション病院
○片岡 佳奈¹⁾, 大幸 俊三²⁾, 岩崎 光芳²⁾, 鈴木 康之²⁾, 西本 博²⁾, 宮上 光祐²⁾
4. 認知機能低下を伴う大腿骨転子部骨折で入院中に高齢発症関節リウマチを診断した1例
医療法人社団 輝生会 船橋市立リハビリテーション病院 リハビリテーション科
○大澤 慶成, 宗雪 年孝, 石原 健, 梅津 博道, 水間 正澄
5. 腸骨肋骨間距離と圧迫骨折と日常活動性の関係について
山本整形外科医院
○山本 茂樹, 山本 晃平
6. 活動量計を用いて経過を追ったアキレス腱断裂保存療法の一例
1) 杏林大学医学部リハビリテーション医学教室, 2) 杏林大学医学部整形外科学教室
○増田 暁史¹⁾, 山田 深¹⁾, 林 光俊²⁾, 岡島 康友¹⁾
7. バイク事故で腱板断裂と肩鎖関節脱臼を受傷し腋窩神経麻痺の合併が疑われた一例
前橋赤十字病院 リハビリテーション科
○東 裕美子, 山内 洋子, 大竹 弘哲
8. 長期精神病院入院患者のロコモティブシンドロームと運動療法の有効性
横浜市立大学医学部リハビリテーション科学
○荒川 英樹, 金森 祐一, 山上 大亮, 野々垣 学, 中村 健

【一般演題：第3部】 11:00~12:00

座長：諸富 伸夫(昭和大学リハビリテーション医学講座)

1. 透析患者に対する人工高濃度炭酸泉足浴の効果

1) 日本医科大学 リハビリテーション学分野, 2) 日本医科大学 衛生学公衆衛生学
○小林 美香¹⁾, 李 卿¹⁾, 陣内 裕成²⁾, 松元 秀次¹⁾

2. 両下肢筋力低下, 低カリウム血症にて入院となり, プロム中毒の診断に至った一例

横浜市立市民病院 リハビリテーション科
○福 みずほ, 内藤 咲月

3. インスリン抵抗性を有する脳梗塞患者での脳梗塞再発, 心筋梗塞発症の検討

埼玉医科大学リハビリテーション科
○間嶋 満, 前田 恭子, 原 元彦, 倉林 均

4. 脳卒中慢性期患者に対するノルディックウォークの効果について

埼玉医科大学国際医療センターリハビリテーション科
○丸山 元, 高橋 秀寿, 内田 龍制, 牧田 茂

5. 回復期に視覚誘導性自己運動錯覚(KiNvis)を行った脳梗塞後片麻痺の一例

湘南慶育病院 慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室
○萩原 和樹, 新藤恵一郎, 金子 文成, 岡和田愛実, 米田 将基, 酒井 克也,
中西 辰雄, 丸山 祥, 赤星 和人, 里宇 明元

6. 血栓回収療法を行った90歳以上の高齢脳卒中患者における急性期リハ

1) 杏林大学医学部リハビリテーション医学教室, 2) 杏林大学医学部脳卒中医学教室
○松本 愛結¹⁾, 山田 深¹⁾, 増田 暁史¹⁾, 藤井 浩優¹⁾, 仁科 彩子¹⁾, 平野 照之²⁾,
岡島 康友¹⁾

7. 人工呼吸器を離脱できた両側延髄内側梗塞の一例

群馬大学医学部付属病院リハビリテーション科
○中村 俊介, 伊部 洋子, 土肥 清志, 戸谷秀太郎, 黒崎みのり, 田澤 昌之,
和田 直樹

8. HANDS therapyとVirtual reality based game trainingの併用

順天堂大学大学院医学研究科リハビリテーション医学
○梅本 一紀, 小見 桃子, 谷 真美, 伊澤 奈々, 羽鳥 浩三, 藤原 俊之

..... <休憩・移動>

【専門医・認定臨床医生涯教育研修会：ランチョンセミナー】

4号館600号室へ移動 12:30~13:30

座長：依田 光正(昭和大学リハビリテーション医学講座)

「歩行障害に対する運動学習」

長谷 公隆(関西医科大学リハビリテーション医学講座・教授)

【関東地方会総会】 13:45~14:05

【一般演題：第4部】 14:05~14:40

座長：真野 英寿(昭和大学リハビリテーション医学講座)

1. 独立型三次救命センターにおける介護支援等連携指導料の算定

千葉県救急医療センター

○古口 徳雄, 木村 高志, 稲田 大悟, 山内 利宏

2. ICU専属理学療法士配置が在院日数に与える影響

横浜市立大学医学部リハビリテーション科学

○中村 健, 佐伯 拓也, 野々垣 学, 荒川 英樹, 金森 裕一, 山上 大亮,
石井 丈彦, 原木 望

3. 下肢筋緊張, 不随意運動に対してボツリヌス治療を行った脳室周囲白質軟化症の一例

順天堂大学大学院医学研究科リハビリテーション医学

○小見 桃子, 梅本 一紀, 谷 真美, 伊澤 奈々, 羽鳥 浩三, 藤原 俊之

4. 当センターにおける成人脳性麻痺へのボツリヌス治療の現状

東京都立北療育医療センター整形外科

○志賀 美紘, 中村 純人, 矢吹さゆみ

5. 成長に伴い療育センターから在宅リハ医に主治医を変更したインフルエンザ脳症後遺症の1例

1) 港北ニュータウン診療所,

2) 昭和大学医学部リハビリテーション医学講座,

3) 川崎西部地域療育センター

○神山 一行¹⁾, 城井 義隆²⁾, 柴田 光規³⁾, 児玉 正吾³⁾, 佐々木ともみ³⁾,
川手 信行²⁾

【専門医・認定臨床医生涯教育研修会：講演1】 14：40～15：40

座長；笠井 史人(昭和大学リハビリテーション医学講座)

「非薬物学的アプローチからアルツハイマー型認知症を考える」

小野 賢二郎(昭和大学医学部内科学講座脳神経内科学部門・教授)

【専門医・認定臨床医生涯教育研修会：講演2】 15：50～16：50

座長；川手 信行(昭和大学リハビリテーション医学講座)

「リハビリテーションと医療倫理」

石川 誠(医療法人社団輝生会・会長)

※講演2は「専門医共通講習」であるため、認定臨床医の単位は取得できません。